



To live better

SHINWA
FUKUSHIKAI
親和福祉会

平成30年度事業報告書



ほっとサポートしんえい
HOT SUPPORT-SHINEI-



げやき福祉園
KEYAKI FUKUSHIEN



ぶどう工房
budou koubou



コトイロ日和
KOTOIRO BIYORI



アンパス
an-PASS



ララスマイル
La La Smile



クラシク
qulashic

本部	1
ほっとサポートしんえい	8
けやき福祉園	12
コトイロ日和	16
ぶどう工房	19
ララスマイル	22
クラシック	24
相談支援センター アンパス	26

法人本部

(1) 法人運営の安定化

計画	<p>①社会福祉法の改正に基づく、評議員会・理事会の開催と運営</p> <p>②法人事務局における、適正かつ効果的な運営体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none">・本部と各事業所間の情報の共有化と連携体制の強化・各種会議のあり方の検討・適正な予算管理、会計事務所との連携による適正な財務管理 <p>③法人運営の透明性と発信力の向上</p>
報告	<p>①-1 理事会開催状況</p> <p><u>第1回 平成30年6月13日 出席理事 6名</u> 議題 平成29年度事業報告の認定について 平成29年度会計決算報告について 平成29年度監事監査報告について 平成29年度けやき福祉園積立金について 平成30年度定時評議員会の招集について</p> <p><u>第2回 平成30年9月5日 出席理事 6名</u> 議題 施設整備に伴う不動産の購入及び改修工事について けやき福祉園、ぶどう工房積立金の変更について けやき福祉園積立金の取崩しについて 本部会計、ほっとサポートしんえい、けやき福祉園およびぶどう工房資金収支補正について 平成30年度第2回評議員会の招集について</p> <p><u>第3回 平成30年11月28日 出席理事 5名</u> 議題 定款の一部改正について ほっとサポートしんえい、ラスマイル補正予算について 平成30年度上半期事業報告について 平成30年度上半期会計報告について 平成30年度第3回評議員会の招集について</p> <p><u>第4回 平成31年3月2日 出席理事 6名</u> 議題 職員の不適切行為の処分について</p> <p><u>第5回 平成31年3月19日 出席理事 6名</u> 議題 事業所管理者の任免について コトイロ日和の運営規程の制定について 本部会計、ほっとサポートしんえい、けやき福祉園、ぶどう工房、ラスマイル資金収支補正について 平成31年度事業計画案について 平成31年度当初予算案について 経理規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 育児・介護休業規程の改正について 平成30年度第4回評議員会の招集について</p>

①-2 評議員会開催状況

第1回 平成30年6月28日 出席評議員 6名

議題 平成29年度事業報告の認定について
平成29年度会計決算報告について
平成29年度監事監査報告について
平成29年度けやき福祉園積立金について

第2回 平成30年9月13日 出席評議員 5名

議題 施設整備に伴う不動産の購入及び改修工事について
けやき福祉園、ぶどう工房積立金の変更について
けやき福祉園積立金の取崩しについて
本部会計、ほっとサポートしんえい、けやき福祉園および
ぶどう工房資金収支補正について

第3回 平成30年12月6日 出席評議員 5名

議題 定款の一部改正について
ほっとサポートしんえい、ラスマイル資金収支補正につ
いて
平成30年度上半期事業報告について
平成30年度上半期会計報告につい

第4回 平成31年3月28日 出席評議員 5名

議題 本部会計、ほっとサポートしんえい、けやき福祉園、ぶど
う工房、ラスマイル資金収支補正について
平成31年度事業計画案について
平成31年度当初予算案について
経理規程の一部改正について
就業規則の一部改正について
育児・介護休業規程の改正について

②法人事務局における運営体制については、

- 本部と各事業所間の情報の共有化と連携体制の強化を事業計画どおりの確に努めてきた。
- 各種会議のあり方の検討は、研修委員会、虐待防止委員会が開催された。今後、倫理委員会を立ち上げることとした。
- 適正な予算管理、適正な財務管理は、会計事務所と連携を密にとり、適正な会計処理に努めてきた。

③法人運営の透明性と発信力の向上を図る為、HPに掲載や、各事業所のおたより等で発信に努めてきた。

(2) より良いサービス提供の実現

計画	①法人としての理念、方針の周知、規定等の遵守 ②人材育成・研修システムの充実 ③地域課題・日中活動の利用ニーズを踏まえた中長期計画の検討
報告	①法人としての理念、方針の周知、規定等の遵守については、計画どおり実施してきた。また、職員の不適切な行為が発覚したので、調査した。 ②人材育成・研修システムの充実については、関係機関の実施する研修等に積極的に職員を受講させてきた。 ③地域課題・日中活動の利用ニーズを踏まえた中長期計画の検討については、コトイロ日和の適正な運営方法を検討し、実施してきた。

(3) 事業の運営

計画	①新規事業として、短期入所事業を開始する ②就労移行支援事業の休止 利用者数の減少にともない、就労移行事業を休止する。3名の利用者については、コトイロ日和(2名)とけやき福祉園B型(1名)で引き続き一般就労に向けての支援を主として行なっていく。 ③就労継続支援A型事業について、現状と課題を整理し、実施事業の変更や実施場所について検討していく
報告	①計画どおりクラシック(短期入所事業)を開始した。 ②計画どおり事業を休止した。 ③現状と課題を整理した結果、就労継続支援A型事業は検討の結果平成30年度末で廃止した。 新たに就労継続支援B型を計画し、土地・建物を取得し、指定申請した。

(4) 地域連携の強化

計画	①新潟薬科大学及び農業研究機関等と協力して六条大麦を活用した新商品の開発に各施設が取り組み、6次化産業を展開 ②関係諸団体への所属・連携 ・新潟県知的障害者福祉協会 ・新潟市障がい福祉サービス事業管理者連絡会 ・新潟市知的障がい施設連絡会 ・新潟市放課後等デイサービス事業所ネットワーク ・秋葉区障がい施設連絡協議会 ・秋葉区地域自立支援協議会 ③秋葉区区づくり事業「あきはステップファーム」の受託・実施
-----------	--

報告	<p>①六条大麦については、新潟薬科大学及び農業研究機関等と協力して新商品の開発に各施設が取り組み、6次化産業を展開については、秋葉区、関係事業者と連携し、事業を進めてきた。</p> <p>②関係諸団体への所属・連携については、それぞれの団体に引続き参加してきた。</p> <p>③秋葉区区づくり事業「あきはステップファーム」の受託・実施については、けやき福祉園、ほっとサポートしんえいが受託し、芋ほりや麦蒔き等を実施してきた。</p>
-----------	--

(5) 委員会の設置

計画	<p>法人として必要な機能整備に向け、事業所間の垣根を超えた、法人としての取り組みを実施できるよう委員会を設置し引き続き運営する</p> <p>①虐待防止委員会 ②研修委員会</p>
報告	<p>①虐待防止委員会では、チェックリストを改正した。事業所単位で定期的なセルフチェック、グループワークを行った。</p> <p>②研修委員会では、今後の研修のあり方の検討、秋葉区施設連絡会と合同で研修会の開催、参加を行った。</p>

(6) 研修計画

計画	<p>支援者としての専門的な役割を自覚し、資質の向上を図る</p> <p>①施設外研修 各種専門研修及びテーマ別研修への参加 ②施設内研修 新任研修会、研修報告会、法人合同研修会の実施 ③合同研修会 所属する関係諸団体との合同研修会の開催及び参加</p>
報告	<p>①施設外研修では、各事業所が職員を受講させ、資質の向上を図った。 *研修参加状況は別表参照</p> <p>②施設内研修では、各事業所が施設外研修の伝達研修や、施設内の課題に係る研修を実施した。</p> <p>③合同研修会では、秋葉区障がい連絡協議会や新潟市知的障がい施設連絡会の開催研修に参加した。</p>

(7) 苦情受付及び第三者委員の配置

計画	<p>利用者の権利を擁護するとともに、客観性と社会的な信頼の確保を図る</p> <p>①各事業所に苦情受付担当者及び解決責任者を配置 ②第三者委員 2 名 皆藤 充 : 前評議員 湯上 綾子 : 前評議員</p>
報告	<p>①各事業所に苦情受付体制を整備し、苦情の受付、解決にあたった。 *受付件数・内容は別表参照</p> <p>②第3者委員会の活動を依頼する事案は無かった。</p>

(8) 防災・危機管理

計画	①事業所ごとに災害計画を整備し、必要な訓練を実施する ②事故・ヒヤリハット報告に基づく検討、会議を実施し、事故防止に努める ③個人情報取扱要項に基づき、個人情報保護に努める
報告	①防災計画については、各事業所において計画を立て、防災訓練を実施した。 ②事故ヒヤリハットについては、各事業所において記録の整備、周知を図り事故防止に努めた。 ③個人情報については、同意書の署名を得たうえで情報保護に配慮してきた。

(9) 健康管理

計画	①定期的な通院、服薬指導など、家族や医療機関との連携し支援する ②健康診断・内科検診・歯科検診を実施し、協力医療機関体制を整備する 協力医療機関：ほしの医院 ③感染症予防に努めるとともに、感染症マニュアルを整備する
報告	①計画どおり実施した。 ②計画どおり健康診断・内科検診・歯科検診を実施した。 ③インフルエンザ等感染症の防止については、マニュアル等に基いて対応した。

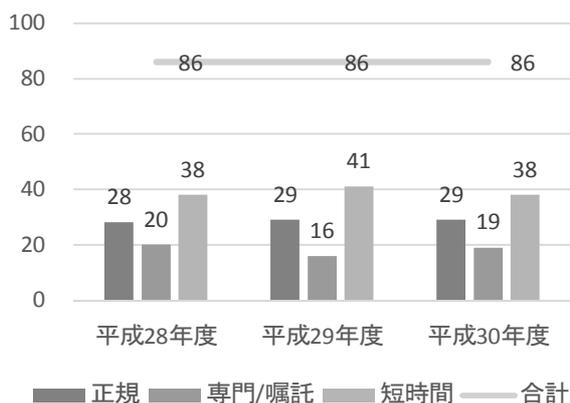
年度別職員雇用状況

事業名	平成28年度				平成29年度				平成30年度				備考
	正規	専門/嘱託	短時間	合計	正規	専門/嘱託	短時間	合計	正規	専門/嘱託	短時間	合計	
本部	1名	1名		2名	1名	1名		2名	1名	1名	1名	3名	
しんえい	10名	5名	7名	22名	11名	3名	7名	21名	10名	3名	4名	17名	
けやき	9名	6名	12名	27名	9名	4名	15名	28名	8名	7名	13名	28名	
ぶどう	3名	2名	5名	10名	3名	2名	6名	11名	3名	2名	6名	11名	
コトイロ	1名	3名	9名	13名	1名	3名	8名	12名	2名	3名	8名	13名	
ララスマイル	3名	2名	5名	10名	3名	2名	5名	10名	3名	2名	5名	10名	うち長期休暇のみ3名
アンバス	1名	1名		2名	1名	1名		2名	2名	1名		3名	
クラシク											1名	1名	兼務職員12名
合計	28名	20名	38名	86名	29名	16名	41名	86名	29名	19名	38名	86名	

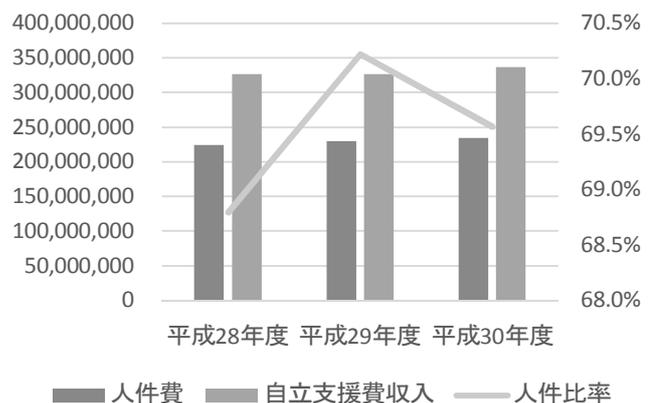
年度別職員人件費推移

事業名	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	人件費	自立支援費収入	対人件比率	人件費	自立支援費収入	対人件比率	人件費	自立支援費収入	対人件比率
本部	2,067,450			1,567,857			4,697,967		
しんえい	74,194,031	105,768,175	70.1%	76,674,787	103,217,430	74.3%	61,476,225	101,054,168	60.8%
けやき	74,666,014	123,453,037	60.5%	72,669,466	128,039,051	56.8%	74,927,093	132,020,841	56.8%
ぶどう	26,954,130	43,595,703	61.8%	27,744,348	38,091,878	72.8%	28,001,055	39,557,010	70.8%
コトイロ	13,224,336	8,899,923	148.6%	12,642,606	9,156,820	138.1%	18,050,369	12,671,706	142.4%
ララスマイル	23,287,644	38,052,322	61.2%	25,730,496	39,888,083	64.5%	27,733,887	39,613,697	70.0%
アンバス	9,881,883	6,245,761	158.2%	11,926,143	7,664,659	155.6%	16,243,510	7,668,408	211.8%
クラシク							2,614,897	3,429,271	76.3%
合計	224,275,488	326,014,921	68.8%	228,955,703	326,057,921	70.2%	233,745,003	336,015,101	69.6%

年度別職員数推移



年度別人件費等推移



事業所別研修参加件数

所属	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ほっとサポート しんえい	0	0	1	1	1	3	5	16	3	0	0	0	30
けやき福祉園	1	3	8	2	1	4	9	22	3	0	0	0	53
ぶどう工房	1	0	0	1	1	0	1	2	3	0	0	0	9
コトイロ日和	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
ララスマイル	0	0	0	0	1	0	4	8	8	3	0	2	26
アンバス	0	1	0	2	0	1	1	4	2	2	1	0	14

事業所別苦情・事故件数

所属	苦情件数	備考	事故件数	備考
ほっとサポート しんえい	3	・保護者より（事業内容） ・近隣住民より ・利用者間	0	
けやき福祉園	2	・近隣住民より（器物破損） ・保護者より（申し送りミス）	1	負傷（亀裂骨折）
ぶどう工房	0		0	
コトイロ日和	0		0	
ララスマイル	0		0	
クラシック	0		0	
アンバス	0		0	

※苦情は事業所において受け付けた件数。事故は新潟市へ報告した事案。

事業所別職員資格取得状況

所属	社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	保育士	実務者研修	痰吸引
ほっとサポート しんえい	4	1	3	1	0	0
けやき福祉園	1	0	3	5	0	0
ぶどう工房	0	2	0	1	0	0
コトイロ日和	0	0	1	0	0	0
ララスマイル	0	0	0	4	1	1
アンバス	3	1	1	2	0	0
合計	8	4	8	13	1	1

ほっとサポートしんえい

(1) 作業支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・受託作業 紙器加工、組立加工、メーター分解等・自主生産活動 資源回収、木工、大麦の精麦・法人内の事業所と連携して、六条大麦を活用した6次化産業を展開していく。・施設外作業の充実を図る 清掃業務、委託販売、農作業の実施・パソコン操作が可能な利用者の個性を活かし、予定表やおたよりの作成を行う。・パン配達・販売を通して社会参加を図る。
報告	<ul style="list-style-type: none">・大麦を活用した取り組みでは、法人内施設と協力しながら進め、販路が拡大したため精麦の受注も伸びた。・委託されている特別養護老人ホームの清掃を行った。農作業は、農業法人1ヶ所のみの実施だった。・パソコン操作が可能な利用者は体調不良のためほとんど通所できず、おたより等の作成は難しかった。

(2) 生活支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・個々のニーズを把握し、必要に応じて個別に支援を提供する・個々に楽しめる活動を提供し、生活にメリハリが持てるよう支援する
報告	<ul style="list-style-type: none">・リハビリや歩行訓練等行い、身体機能の維持・向上に努めた。・さまざまな課題作業を提供したり貼り絵をしたりして、日中活動の充実を図った。また、天気がいい時期は屋外に散歩に出たり、植物園に出かけ散策したりするなど屋外での活動を多く取り入れた。・生活介護の稼働率が上がらない原因は登録している身体障害の方の出席率が低く、長期欠席者もいることが大きな要因である。

(3) 余暇支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・季節に応じた施設全体行事や、各事業の目的や希望に沿った行事を実施する・毎月1回土曜日を開所し、余暇支援の充実を図る・レクリエーションスポーツ活動を実施し、運動をする機会を設けるとともに肥満の予防に努める
報告	<ul style="list-style-type: none">・8月には「どんちゃんまつり」を実施し、地域の方との交流を深めた。また、1月には「新年会」を実施し、利用者・保護者とともに楽しい1日を過ごした。・B型は6月に社会見学で「めんつう」を訪問した。介護は2~4人の小グループで希望をとって外出活動を行った。電車に乗って新潟方面へ出かけたり、五十公野公園へ出かけたりした。また、10月には部門ごとに日帰り旅行へ出かけた。・月に1回土曜日を開所し、調理活動をしたり、みかん狩りに出かけたり

した。
 ・レクリエーションスポーツ活動は5月に実施。植物園までウォーキングを行った。

(4) 相談支援

計画 ・本人とその家族と面談を行い個別支援計画の作成、実施。半年後に評価を行う
 ・必要に応じて、個別面談や家庭訪問を行う

報告 ・個別支援計画を作成し半年ごとに評価・見直しを行った。評価・見直しについては、利用者・保護者と面談を行い説明するとともに、新たなニーズについても確認した。
 ・長期欠勤が続いている利用者には定期的に家庭訪問を行い、身体状況を把握し、通所についての確認を行った。

(5) 送迎支援

計画 ・自力で通所が困難な方に自宅までの送迎支援を行う

報告 ・B型6名、介護13名の送迎を行った。また、短期入所など他事業所を利用する際も送迎を行った。

(6) 食事提供

計画 施設利用者の健康に配慮した安全・安心な給食を提供する

報告 3月よりコトイロ日和からの配食へ移行し味噌汁の盛り付け等を厨房内でコトイロ日和の職員より行ってもらう形式へ変更した。最初の頃はもたついていたが、慣れ始めてからは大きな問題もなくスムーズに実施できた。

(7) 支援サービスの質の向上

計画 ①毎月、事業別ケース会議と職員会議を実施する。
 ②必要に応じて関係機関を交えたケア会議を実施し、共通認識を持って支援を行う。
 ③福祉制度や障害者支援に関わる内容だけでなく、幅広い各種研修に積極的に参加することで知識を深め、地域福祉に貢献できる人材育成に努める。

報告 ① 毎月事業別でケース会議を行い、個別支援計画や評価の検討、確認を行ったり、利用者支援について検討したりした。また、職員会議では、各事業での作業や行事の検討や確認を行った。
 ② 利用者・保護者との面談時に相談支援専門員やグループホームスタッフ等にも同席していただき、支援について情報を共有するようになった。
 ③ 主に「強度行動障害」や「自閉症」をテーマにした研修に参加した。また、施設内で研修報告会を行い、研修で得た知識を他職員に伝えることで、職員のスキルアップを図った。

(8) 地域社会・関係機関との連携

計画	<ul style="list-style-type: none">① 秋葉区障がい施設連絡協議会、新潟市知的障害施設連絡会に所属、連携する② 地域交流イベント『どんちゃんまつり』を企画・実施する③ 町内資源回収やパン配達を通して、新栄町内や地域社会との交流を深める
報告	<ul style="list-style-type: none">② 8月に「どんちゃんまつり」を実施した。地域の方からも準備や片付け等協力していただいたり、青陵大学の方からダンスを披露していただいたりした。今年も400人以上の集客があり、事故なく無事に終えることができた。③ 毎月2回新栄町内の資源回収を行ったり、毎週木曜日、町内にパン配達へ行ったりして、地域との交流を深めた。

事業別利用状況 就労継続B型 定員 36

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	807	862	872	873	822	734	872	850	776	736	751	796	9,751
開所日数	21	22	22	22	21	19	23	22	20	20	20	20	252
平均利用者数	38	39	40	40	39	39	38	39	39	37	38	40	39
利用率	106.7%	108.8%	110.1%	110.2%	108.7%	107.3%	105.3%	107.3%	107.8%	102.2%	104.3%	110.6%	107.5%

事業別利用状況 生活介護 定員 24

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	313	319	316	310	288	273	314	306	299	284	306	310	3,638
開所日数	21	22	22	22	21	19	23	22	20	20	20	20	252
平均利用者数	15	15	14	14	14	14	14	14	15	14	15	16	14
利用率	62.1%	60.4%	59.8%	58.7%	57.1%	59.9%	56.9%	58.0%	62.3%	59.2%	63.8%	64.6%	60.2%

事業所全体利用状況 定員 60

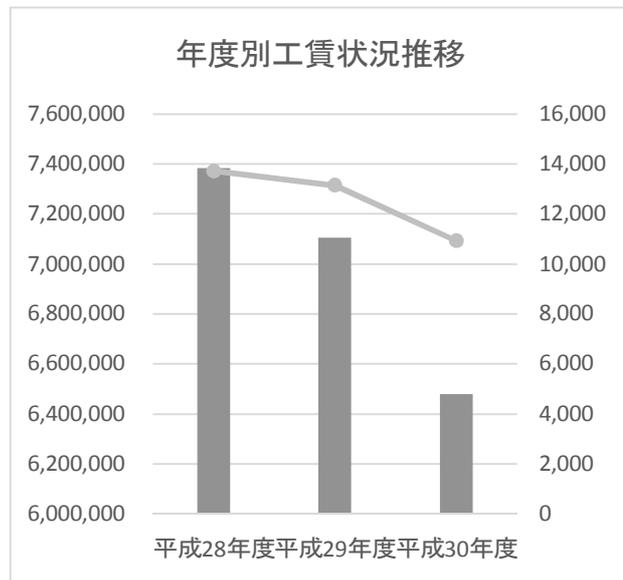
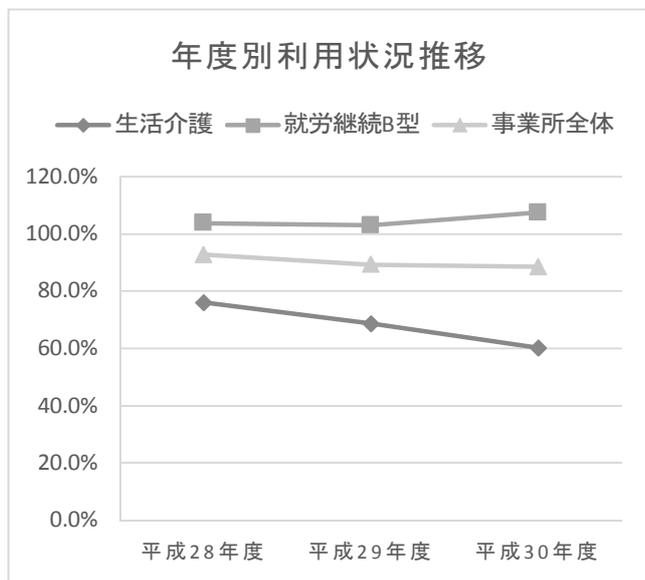
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	1,120	1,181	1,188	1,183	1,110	1,007	1,186	1,156	1,075	1,020	1,057	1,106	13,389
開所日数	21	22	22	22	21	19	23	22	20	20	20	20	252
平均利用者数	53	54	54	54	53	53	52	53	54	51	53	55	53
利用率	88.9%	89.5%	90.0%	89.6%	88.1%	88.3%	85.9%	87.6%	89.6%	85.0%	88.1%	92.2%	88.6%

年度別利用状況

事業名	平成28年度				平成29年度				平成30年度				前年比利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	
就労継続支援B型	36	252	9,420	103.8%	36	252	9,344	103.0%	36	252	9,751	107.5%	407
生活介護	24	252	4,598	76.0%	24	252	4,152	68.7%	24	252	3,638	60.2%	△514
事業所全体	60	252	14,018	92.7%	60	252	13,496	89.3%	60	252	13,389	88.6%	△107

年度別工賃支払状況

事業名	平成28年度				平成29年度				平成30年度				前年比平均工賃
	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	
就労継続支援B型	45	7,381,089	7,030,866	13,716	44	7,104,514	6,638,802	13,146	45	6,477,112	5,592,468	10,923	△2,223



けやき福祉園

(1) 作業支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・焼菓子製造作業、農作業や木質ペレット作業、園芸作業を通じて消費者ニーズの把握や新製品の開発および地域の関係機関との連携を図り、より地域に密着した販売活動を目指す。・農福連携により、近隣農家で就労支援を行うことで、地域の方と関わり合いながら生産活動を行い社会性を学ぶ。・工賃向上を目指し、施設外作業を充実させるため秋葉山動物飼育作業を行う。また、法人内の事業所と連携して、六条大麦を活用した6次化産業を展開していく。
報告	<ul style="list-style-type: none">・焼菓子製造では、新製品としてもち麦を使用したドーナツ等を製造販売した。園芸作業では、緑化活動推進事業が市の委託から各自治体との交渉となったことで、近隣自治体のニーズに応じ 交流しながら栽培・出荷することができた。・農福連携では、昨年度と同様に地域の農家（2軒）で作業を行ってきた。・秋葉山動物飼育作業を昨年度に引き続き行なった。・大麦活用については、産業振興課を中心に立ちあがった「もち麦プロジェクト」により、関連機関との連携のもと 地域へのPRと販路拡大をすすめてきた。

(2) 生活支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・その人にとってのよりよい生活につながるよう、衣服の着脱、食事、排せつ、入浴等について、必要に応じ個別支援を行う。
報告	<ul style="list-style-type: none">・個々の障害特性に応じて、その人ができることを大切にしながら 食事や入浴等日常生活に必要な支援を行なった。

(3) 余暇支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・季節に応じた施設全体行事や、各事業の目的や希望に沿った行事を実施する。・毎月1回土曜日を開所し、余暇支援の充実を図る。
報告	<ul style="list-style-type: none">・花見、クリスマス、年始行事、節分等の全体行事のほか、B型事業では社会見学や選択制の余暇活動、生活介護では月に1回の調理体験、年2回講師を招いての音楽活動、選択制の外出活動等を実施した。・毎月第二土曜日を開所し、買物・見学等の外出やカラオケ・創作活動等室内での余暇支援を希望者に対し実施した。

(4) 相談支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・利用者・家族と定期的に面談を行い、利用者のニーズを中心に聞きとり個別支援計画に反映させる。・利用者の相談については随時受け、ていねいな説明と親切な対応を行う。家族の相談についても随時受け、必要に応じて家庭訪問を行う。
報告	<ul style="list-style-type: none">・個別支援計画作成のための面談、モニタリングを実施してニーズを聞きとり、個別支援計画を作成し、それに基づいて支援を行なった。・利用者からの日々の相談について、話をよく聞き受けること ていねいに説明をすることを心がけて支援を行なった。家族の相談についても随時受け、緊急的に介入が必要な時は家庭訪問し支援を行なった。

(5) 送迎支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・送迎を希望する秋葉区在住の利用者に対し送迎支援を実施する。 ※五泉市、阿賀野市についても一部実施
報告	<ul style="list-style-type: none">・秋葉区、五泉市在住の希望者に対し送迎支援を実施した。 ※阿賀野市についても一部送迎支援を実施。

(6) 支援サービスの質の向上

計画	<ol style="list-style-type: none">①旧ラスマイルを活用し、利用者ニーズをふまえた日中活動を提供していく。②毎月、事業別ケース会議と職員会議を実施する。③必要に応じて関係機関を交えたケア会議を実施し、共通認識を持って支援を行う。④福祉制度や障害者支援に関わる内容だけでなく、幅広い各種研修に積極的に参加することで知識を深め、地域福祉に貢献できる人材育成に努める。⑤虐待防止への取り組みとして毎月支援に関するセルフチェックとグループワークを行い、職員個々の振り返りと連携強化を図る。⑥感染症対策を強化していく。
報告	<ol style="list-style-type: none">①マンション秋葉（旧ラスマイル）を活用し 少人数での調理体験等 余暇活動を主として行なった。室内の整備や掃除も含め、活動内容についても自分たちで考え 話し合い 選択して活動できるよう支援してきた。②毎月、事業別ケース会議と職員会議を実施した。③多種サービスを利用している方や家族支援が必要な方等、必要に応じて関係機関とのケア会議を実施した。④支援に関する研修をはじめ、防災、商談に関する研修等に参加し、職員会議で報告し周知した。⑤虐待防止への取り組みとしてグループワークを年4回実施（不定期）した。また、ストレスチェックを兼ねたセルフチェックを3ヶ月に1回実施した。⑥あらたな感染症対策として、朝夕 施設内・送迎車内への除菌剤散布を実施した。※弱アルカリ性次亜塩素酸ナトリウム 空気中に散布できるもの

(7) 地域社会・関係機関との連携

計画	①あきはステップファームを受託、実施する ②地域が開催するイベント等に積極的に参加するとともに、地域交流行事「グリーン・デ・フェスタ」を企画・開催する ③ボランティアや実習生、施設見学を積極的に受け入れる。
報告	①区づくり事業「あきはステップファーム」を受託し、ほっとサポートしんえいと協力して実施。4つのこども園・保育園と農作業や菓子作りなどで交流を深めた。 ②もち麦・焼菓子販売で地域のイベントに参加した。地域貢献と交流を目的としてグリーン・デ・フェスタを企画・開催した。 ③施設見学、日赤奉仕団の炊き出し等のボランティア、専門学校・高校・大学生の実習を受け入れた。特別支援学校生については、学校と相談し次の支援につながるよう配慮して実習受入れを実施した。

事業別利用状況 就労継続B型 定員 40

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	995	1,027	1,011	1,022	975	942	1,047	993	921	950	921	984	11,788
開所日数	21	22	22	22	21	21	23	22	20	20	20	21	255
平均利用者数	47	47	46	46	46	45	46	45	46	48	46	47	46
利用率	118.5%	116.7%	114.9%	116.1%	116.1%	112.1%	113.8%	112.8%	115.1%	118.8%	115.1%	117.1%	115.6%

事業別利用状況 生活介護 定員 13

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	289	309	320	320	305	293	331	314	291	291	285	302	3,650
開所日数	21	22	22	22	21	21	23	22	20	20	20	21	255
平均利用者数	14	14	15	15	15	14	14	14	15	15	14	14	14
利用率	105.9%	108.0%	111.9%	111.9%	111.7%	107.3%	110.7%	109.8%	111.9%	111.9%	109.6%	110.6%	110.1%

事業所全体利用状況 定員 53

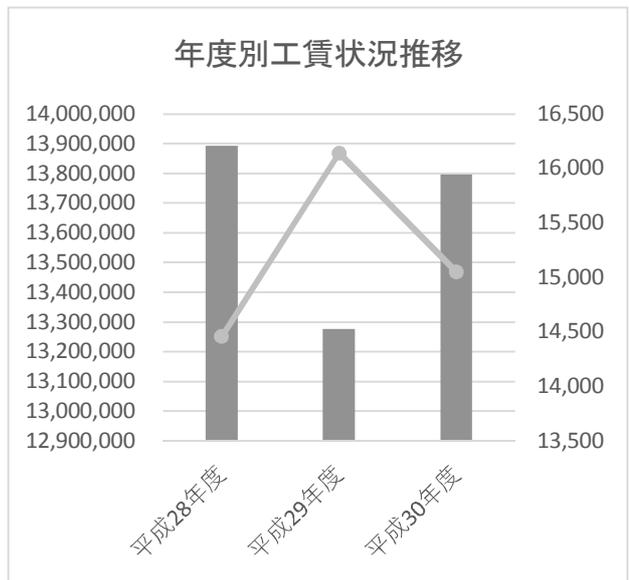
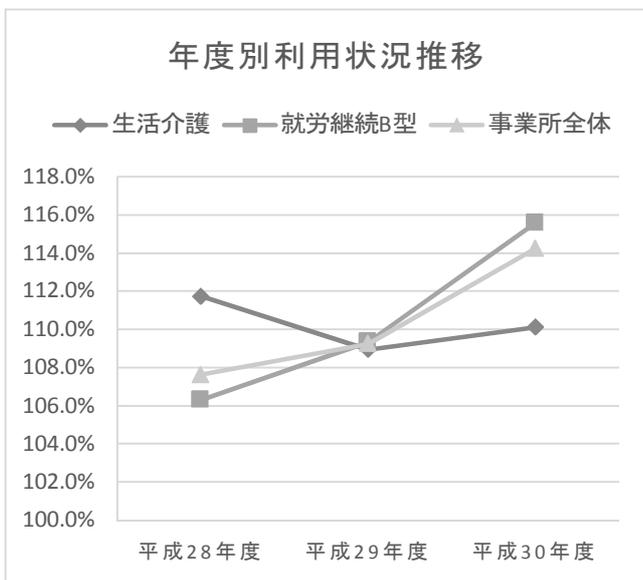
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	1,284	1,336	1,331	1,342	1,280	1,235	1,378	1,307	1,212	1,241	1,206	1,286	15,438
開所日数	21	22	22	22	21	21	23	22	20	20	20	21	255
平均利用者数	61	61	61	61	61	59	60	59	61	62	60	61	61
利用率	115.4%	114.6%	114.2%	115.1%	115.0%	111.0%	113.0%	112.1%	114.3%	117.1%	113.8%	115.5%	114.2%

年度別利用状況

事業名	平成28年度				平成29年度				平成30年度				前年比利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	
就労継続支援B型	40	259	11,012	106.3%	40	259	11,328	109.3%	40	255	11,788	115.6%	460
生活介護	13	259	3,762	111.7%	13	259	3,668	108.9%	13	255	3,650	110.1%	△18
事業所全体	53	259	14,774	107.6%	53	259	14,996	109.2%	53	255	15,438	114.2%	442

年度別工賃支払状況

事業名	平成28年度				平成29年度				平成30年度				前年比平均工賃
	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	
就労継続支援B型	53	13,891,114	8,471,429	14,456	57	13,275,886	9,748,514	16,140	55	13,795,435	9,481,259	15,050	△1,090



コトイロ日和

(1) 作業支援

- 計画**
- ・クチーナ・デル・オテント、カフェ・ド・オテント等の喫茶事業において、個々の適性や作業スキルに応じて、接客や調理補助を行う。
 - ・秋葉区障がい施設連絡協議会内「コレッテ」、薬科大学内「AKIHA CAFÉ」の運営を受託し、販売活動を行う。
 - ・喫茶業務でのノウハウを活かし、法人内事業所での食事提供業務を行い、より「食」に特化した事業展開を行う。
 - ・法人内の事業所と連携し、六条大麦を活用した6次産業を展開として、大麦を使用した健康的なメニューや商品の提供を行う。

- 報告**
- ・計画通り実施した。
 - ・喫茶業務は前年比93%の収入であったが、受託業務として食事提供業務を開始したことにより、全体としては前年比140%の収入であった。
 - ・秋葉区と連携し、「健康レストラン事業」において、大麦を使用した健康的なメニューの試食提供等を行った。

(2) 生活支援

- 計画**
- ・安定した就労を支えるために必要な、土台となる規則正しい生活を送るための助言や、課題解決に向けた取り組みについて、関係機関やご家庭と連携をして行う。

- 報告**
- ・計画通り実施した。
 - ・働くために必要な課題解決に向けて、必要に応じて関係機関やご家庭と連携し、助言等を行った。

(3) 相談支援

- 計画**
- ・定期的にかつ必要に応じて随時、本人からの聞き取り等を行うことで生活状況等を把握し、就労面・生活面の不安や課題を軽減するように努める。
 - ・相談支援専門員等の関係機関と定期的に情報共有を図ることで、迅速な課題解決を図る。

- 報告**
- ・計画通り実施した
 - ・定期的にかつ必要に応じて随時、本人から聞き取り等を行うと共に、定期的に関係機関と情報共有を図ることで、迅速な課題解決を図った。

(4) 支援サービスの質の向上

- 計画**
- ①各関係機関との連携を密にし、安定した就労ができるよう支援する。
 - ②定期的な職員会議等の実施、また必要に応じて関係機関とのケア会議等を実施する。

報告 ・計画通り実施した。

(5) 地域社会・関係機関との連携

- 計画**
- ①「コレッテ」の運営、商品作りを通して関係機関との連携や地域との関係づくりを図る。
 - ②当たり前のように障がいのある方が働いている姿を多くの人に知ってもらえるよう、地域のイベント等にも積極的に参加し、地域に根付いた店づくりに努める。

報告

- ①計画通り実施した。
- ②ハロウィンまつりやアキハマザーなど、地域で開催されたイベントに積極的に参加することで、地域との関係づくりを図った。2回、3回と継続してイベントに声をかけていただけているように、今後も進めていきたい。

利用状況

就労継続A型

定員

10

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	146	149	151	151	147	140	150	149	138	130	126	148	1,725
開所日数	25	26	26	26	25	26	26	26	24	23	24	27	304
平均利用者数	6	6	6	6	6	5	6	6	6	6	5	5	6
利用率	58.4%	57.3%	58.1%	58.1%	58.8%	53.8%	57.7%	57.3%	57.5%	56.5%	52.5%	54.8%	56.7%

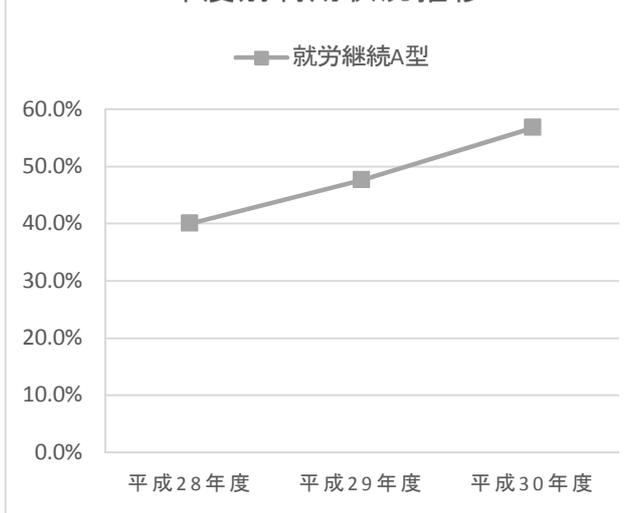
年度別利用状況

事業名	平成28年度				平成29年度				平成30年度				前年比 利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	
就労継続支援A型	10	335	1,341	40.0%	10	309	1,470	47.6%	10	304	1,725	56.7%	255

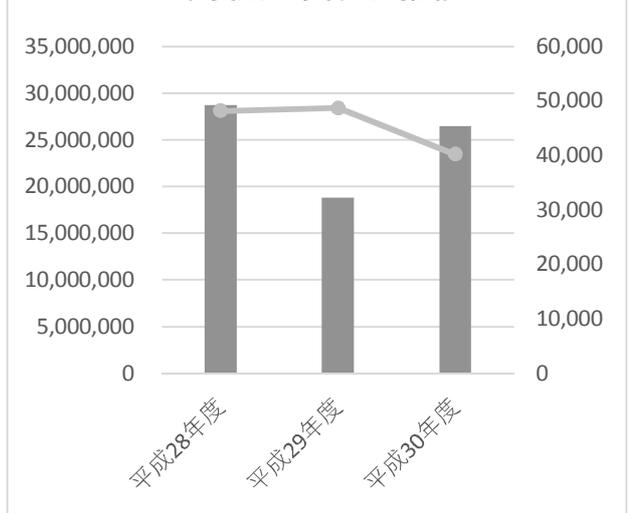
年度別工賃支払状況

事業名	平成28年度				平成29年度				平成30年度				前年比 平均工賃
	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	
就労継続支援A型	8	28,690,738	3,758,110	48,181	8	18,805,351	4,674,154	48,689	10	26,428,177	4,298,333	40,171	△ 8,518

年度別利用状況推移



年度別工賃状況推移



ぶどう工房

(1) 作業支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・自主事業（パン製造販売）は、利用者の個々の特性を理解し、それぞれに合った無理のない作業設定を行うことで、その技能を高める。また、地域に愛される商品づくりをし、地域貢献、社会参加につなげる。・受託事業（紙加工・米菓の詰め替え）は、年間を通して安定した作業量を確保し利用者に提供する。・施設外就労（企業・喫茶店営業）は、個別支援計画に基づき企業内で作業を実施する。職場により近い環境で仕事に対する姿勢やコミュニケーションの取り方などを学ぶことを目的とする。・法人内の事業所と連携して、六条大麦を活用した6次産業を展開していく。
報告	<ul style="list-style-type: none">・自主事業では、パン・クッキーの収入が前年度比で96% 受託事業では、前年比で99%の収入であった。 自主事業（パン製造販売）においては、今後「商品開発」「販路拡大」を目標としていく。・施設外就労においては、毎日10人が「紙加工企業」「喫茶店業務」に携わっている。良好な評価をいただいている。

(2) 生活支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・QOLを高めるため各自治体の制度やサービスの利用を促し、安定して充実した生活を送れるよう支援する。・利用者同士の交流を深めるための自主活動と地域の活動やイベント等に参加し、地域交流が持てるよう支援する。
報告	<ul style="list-style-type: none">・利用者の平均年齢が46歳と年齢が高くなるにつれて、ご家族（両親・兄弟姉妹等）も高齢化してきている。生活全般にわたっての支援・相談の件数が増加している。・地域で開催されるイベント等に参加し、利用者に社会参加の場を提供することができた。

(3) 健康管理

計画	<ul style="list-style-type: none">・安定した豊かな地域生活を送れるよう定期的な通院、服薬指導など、家族や医療機関、福祉などの関係機関との連携を密にし支援する。・主治医の指導のもと、定期的に通院し服薬の指導を受け病状の安定に努める。・食品衛生法に基づき、年1回検便を実施する。
報告	<ul style="list-style-type: none">・計画通り実施した。・体調の変化に早めに気づくことで、（早期発見）早期治療に繋ぐことができた。

(4) 相談支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・年2回の定期面談を行い、利用の目的や今後について共に考える機会を作り個別支援計画を作成する。・個別相談を随時行い、利用者や家族からの日々の悩みや気持ちに寄り添いながら協力医や担当保健師など関係機関の連携を取り、相談に応じる。
報告	<ul style="list-style-type: none">・疾病の再発を防ぎ、安心・安全に生活を送れるよう支援した。・年2回の定期面談では、利用者の課題や意向を確認し、必要な支援及び助言を行った。・必要に応じて、医療機関・関係機関との連携を図ることができた。

(5) 送迎支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・自分で通所困難な利用者に対して送迎支援を実施する。・定期的なスタッフミーティングを開催し、送迎支援に関わるスタッフとの連絡及び連携を常に図り、サービスの向上に努める。
報告	<ul style="list-style-type: none">・月2回、送迎支援会議を開催し、利用者の日々の状態を把握し、必要に応じて支援を行った。

(6) 支援サービスの質の向上

計画	<ol style="list-style-type: none">①精神障害にともなう「生活のしづらさ」について、日ごろから医療機関、行政機関との連携を保ちながら、利用者の生活の安定のために支援する。②利用者に公平なサービスを提供できるよう、職員のミーティング（随時）・ケース会議（月2回）等を行い、利用者の体調や生活状況を把握し、情報を共有するよう努める。③職員の資質や専門性を高めるために、各種研修への参加を促進し、スキルアップをめざす。内部研修や勉強会を行い、知識の習得に努める。
報告	<ul style="list-style-type: none">・計画通り実施した。・職員は、各種研修に参加しスキルアップを図った。・各種会議を開催し、話し合いの場を設け協議を行うことで、課題の解決に結びつけることができた。

(7) 地域社会・関係機関との連携

計画	<ol style="list-style-type: none">①地域の関係機関との関わりを持ち、地域に開かれた施設運営に努める。②地域で開催されるイベント等に積極的に参加し、利用者に社会参加・地域交流の場を提供するとともに地域に施設の情報の発信をする。
報告	<ul style="list-style-type: none">・「癒しの里協議会」に参加し、地域社会との連携を図ると共に、交流と情報交換を行うことができた。

利用状況

就労継続B型

定員

20

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	343	359	374	387	342	330	410	387	338	345	366	386	4,367
開所日数	24	24	26	25	23	23	25	24	23	21	23	26	287
平均利用者数	14	15	14	15	15	14	16	16	15	16	16	15	15
利用率	71.5%	74.8%	71.9%	77.4%	74.3%	71.7%	82.0%	80.6%	73.5%	82.1%	79.6%	74.2%	76.1%

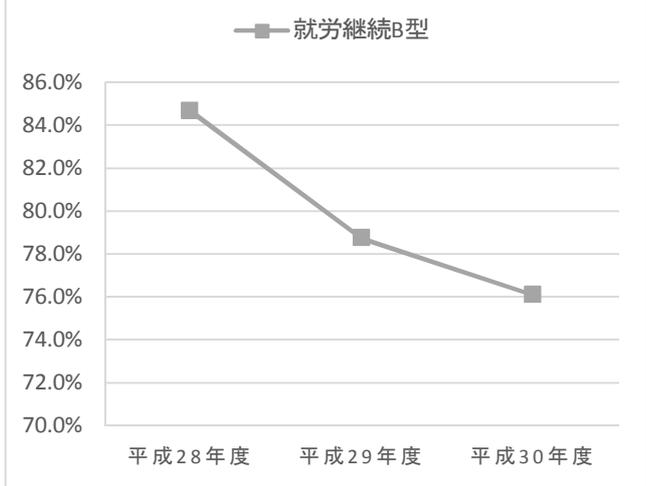
年度別利用状況

事業名	平成28年度				平成29年度				平成30年度				前年比 利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	
就労継続支援B型	20	288	4,875	84.6%	20	286	4,503	78.7%	20	287	4,367	76.1%	△136

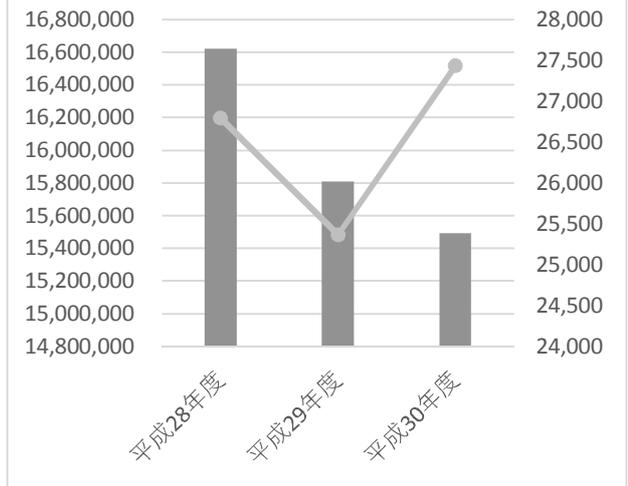
年度別工賃支払状況

事業名	平成28年度				平成29年度				平成30年度				前年比 平均工賃
	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	
就労継続支援B型	26	16,620,506	8,009,978	26,789	24	15,806,868	7,456,629	25,363	24	15,491,283	7,544,319	27,434	2,071

年度別利用状況推移



年度別工賃状況推移



ララスマイル

(1) 発達支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・発達課題、障害特性に応じた支援、個別/グループプログラムを実施する・ソーシャルスキルトレーニングの実施
報告	<ul style="list-style-type: none">・利用ニーズや個別の発達課題、特性に応じた個別支援計画を作成し、個別、グループでの活動機会を組み合わせ支援を実施した。・個々に課題とする具体的な社会生活技能の向上に向け、効果的に支援を行うため、小グループ単位でのソーシャルスキルトレーニングの機会を提供した。

(2) 余暇支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・興味のもてる、楽しめる活動を提供する (一人遊び、グループ遊び、創作活動、季節行事活動、外出活動)
報告	<ul style="list-style-type: none">・個別の日課の中で、様々な活動の機会を提供するとともに、季節に応じた集団での行事の機会や、地域のイベントの参加や地域資源を活用した外出活動を行った。・共通の興味や同年代の児童同士でのグループ活動の機会を提供し、仲間意識や助け合う大切を感じられるよう支援を行った。

(3) 日常生活支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・基本的動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練を実施する (排せつ、食事、着脱、言語、集団生活)
報告	<ul style="list-style-type: none">・個別の特性、発達段階に応じて、課題となる生活動作、技能の取得に向け、個別対応での活動機会を提供した。・統一した手段で支援を行うことができるよう家庭や学校との連携を図った。

(4) 学習支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・学校、家庭と連携し、宿題の見守り、学習への取り組みを支援する
報告	<ul style="list-style-type: none">・計画どおり実施した。

(5) 送迎支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・秋葉区区内の学校までの迎えを実施する
報告	<ul style="list-style-type: none">・計画どおり実施すると共に、家族の療育状況や家庭環境、緊急時等においては、必要に応じて帰りの送迎支援を実施した。

(6) 延長支援

計画 ・休業日においては 8 時 00 分から 9 時 00 分、17 時 30 分から 19 時 00 分までの延長支援を実施する

報告 ・計画どおり実施した。

(7) 相談支援・家族支援

計画 ・定期的な個別面談を実施するとともに必要に応じて家庭訪問を実施する
・こどもの発達課題や障害特性への理解を深め、具体的な手立てと見通しをもった取り組みを通して、「障害受容」を支える
・関係機関と連携し、ライフステージに沿った支援を行う

報告 ・定期的な個別面談の機会を設けるとともに、個別の状況によって、集中的な相談支援、家庭訪問を行った。
・学校や家庭と共通の取り組みを実施できるよう支援会議に積極的に参加した。
・必要に応じて、学校訪問や医療機関への同行を実施した。

(8) 支援サービスの質の向上

計画 ①毎月、ケース会議と職員会議を実施する。
②事業所内研修、勉強会や各種研修会参加等を通して支援者の「気づく」「学ぶ」「伝える」「取り組む」「振り返る」力を育み、専門事業所としての支援力の向上を図る。

報告 ①計画どおり実施した。
②外部研修の参加とともに、個別ケースを通して、支援の質の向上に向け事業所内での勉強会を実施した。

(9) 地域社会・関係機関との連携

計画 ①新潟市放課後等デイサービス事業所ネットワークの設立・運営
②余暇支援において、地域資源を積極的に活用する
③講師を招いて音楽活動を実施する
④読み聞かせボランティアの受け入れを行う

報告 ・放デイネットの運営に参加し、事業所間の交流や関係機関の連携、支援の質向上に向けた取り組みを行った。
・音楽活動の機会は講師の事情によって実現できなかった。
・学生ボランティアや実習生の受け入れを行った。
・茶道体験活動を実施し、高校生との触れ合いの機会を提供した。

クラシック

(1) 支援内容

計画	利用される方に応じて必要な支援を提供する ①入浴、排せつ、食事の介護 ②健康管理 ③食事の提供 ④相談及び助言
報告	<ul style="list-style-type: none">・ご家族、本人より利用ニーズや状況の聞き取りを行うとともに、所属先との情報共有を図り、必要な支援を提供できるよう努めた。・検温や血圧の計測、服薬管理、気温管理、衣類や寝具の調整等、健康管理に配慮し支援を行った。・偏食や刻み食の対応や朝食の主食を選択できるようにすることで、個々の状況や普段の生活スタイルに配慮した食事提供を行った。・家庭環境に近い環境でのコミュニケーションの機会を活かし、利用者に寄り添った相談（会話）を意識し支援を行った。

(2) 支援サービスの質の向上

計画	①各種会議・ケース検討の実施 ②事業所内研修、外部研修会への参加
報告	<ul style="list-style-type: none">・定期的に担当者会議を実施し、より良い支援についての検討を行った。・ご家族にご利用時の様子が伝わるよう連絡ファイルを活用するとともに、支援者間での、支援提供の状況や引継ぎ事項等についての情報共有を徹底し、利用者とその家族が安心して利用できる支援体制と環境づくりを意識し、支援を提供した。

(3) 地域社会・関係機関との連携

計画	①安心して暮らすことができる地域社会との関係づくり ②行政及び関係機関との連携・協働を図る ③地域住民の雇用機会の提供（障がいへの理解・交流・支援者の創出）
報告	<ul style="list-style-type: none">・行政や関係機関に対して、事業の実施状況、受け入れ体制、支援状況等についての情報を提供し、事業理解を図った。・近隣地域に住む方を雇用し、利用時の支援体制の強化と、利用者への理解と交流を図った。

ラスマイル

利用状況 放課後等デイサービス 定員 20

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	450	416	466	499	508	421	492	447	437	416	402	514	5,468
開所日数	24	24	26	25	23	23	26	24	23	23	24	25	290
平均利用者数	19	17	18	20	22	18	19	19	19	18	17	21	19
利用率	93.8%	86.7%	89.6%	99.8%	110.4%	91.5%	94.6%	93.1%	95.0%	90.4%	83.8%	102.8%	94.3%

年度別利用状況

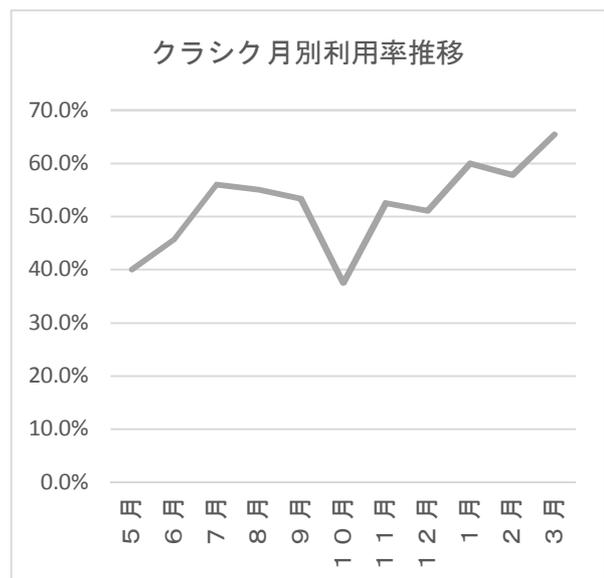
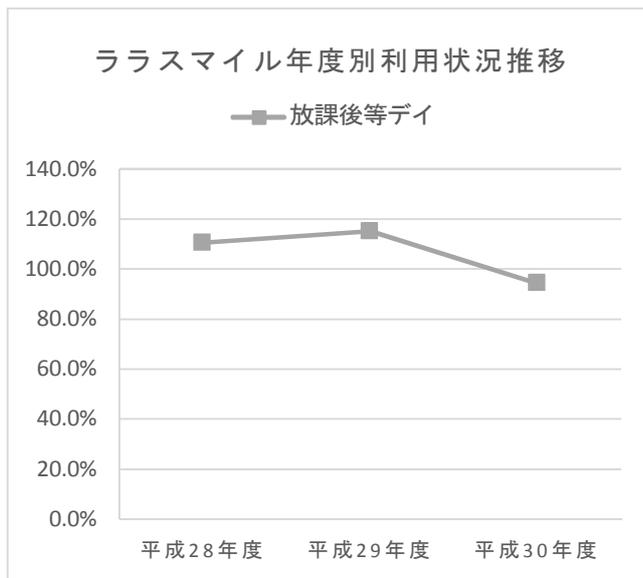
事業名	平成28年度				平成29年度				平成30年度				前年比 利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	
就労継続支援B型	15	291	4,824	110.5%	15	287	4,953	115.1%	20	290	5,468	94.3%	515

クラシック

利用状況 短期入所 定員 5

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数		8	16	28	33	32	15	21	23	27	26	36	265
開所日数		4	7	10	12	12	8	8	9	9	9	11	99
平均利用者数		2	2	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3
利用率		40.0%	45.7%	56.0%	55.0%	53.3%	37.5%	52.5%	51.1%	60.0%	57.8%	65.5%	53.5%

平成30年度				
事業名	定員	開所日数	延利用者数	利用率
短期入所	5	99	265	53.5%



アンパス

(1) 計画相談支援

計画	対象者：障害福祉サービスを申請した障がい者又は障がい児 ①ニーズや課題の整理 ②ニーズや課題に基づいた障がい福祉サービス等に関する情報提供 ③必要な障がい福祉サービスについてのサービス計画案作成 ④支給決定後のサービス利用計画作成と障がい福祉サービス利用に関する調整 ⑤障がい福祉サービス利用後、一定期間毎のモニタリングと必要に応じての計画書の見直し
報告	全ての項目について100%ではないが、概ね実施できた。 利用者の就学や介護保険利用への移行者が増加してきた。 また、急なサービスの変更を必要とする利用者も併せて増えており各事業所との連絡、調整や支援者会議の占める割合が多くなってきている。

(2) 支援サービスの質の向上

計画	①秋葉区ケース会議（事例検討等）に参加する。（月1回） ②その他必要に応じた研修に参加する。 ③安全運転、法令順守、事故防止に努める。 ④個人情報取扱要項に基づき、個人情報保護に努める。
報告	概ね達成できたが、②の研修については一部、日程の調整ができず参加できない研修もあったが次年度以降に参加していく。

(3) 地域社会・関係機関との連携

計画	①安心して暮らすことができる地域社会の実現への貢献 ②市及び関係機関、地域社会との円滑な連携、支援ネットワークの構築を図る。
報告	地域社会や関係機関との連携は以前よりも円滑になってきておりネットワークが進んできたと感じる。

事業別実施状況

特定相談支援

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画	16	15	14	16	17	11	13	15	12	20	12	17	178
モニタリング	12	12	7	16	12	11	6	23	13	19	15	11	157
合計	28	27	21	32	29	22	19	38	25	39	27	28	335

事業別実施状況

障害児相談

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画	12	12	6	3	6	5	6	4	3	11	5	11	84
モニタリング	8	8	3	2	1	9	2	5	3	8	5	3	57
合計	20	20	9	5	7	14	8	9	6	19	10	14	141

年度別実施状況

事業名	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	登録者数	計画	モニタリング	登録者数	計画	モニタリング	登録者数	計画	モニタリング
特定相談	220	159	174	223	180	193	225	178	157
障害児相談	53	50	33	57	78	66	60	84	57
合計	273	209	207	280	258	259	285	262	214

